

## 高齢者では血圧低下が腎機能低下の強力なリスクとなる

高齢者における静的および動的な血圧と腎機能の変化との関係について、10年間の後ろ向きコホート試験を実施し検討した。

60歳以上の患者8,636例を対象とし、患者を3つの年齢層に分けた。2002年に少なくとも1回、血圧を測定し、その後最低4回の血清クレアチニン測定を行った。また、2002年以降、収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍の変化を算出した。腎機能の変化と血圧変化との関係を統計学的に分析した結果、60~79歳の患者では、試験開始時の収縮期血圧と脈拍の高さが腎機能低下と関連したが、80歳以上の患者では試験開始時の血圧と腎機能低下に相関関係はみられなかった。収縮期血圧および脈拍の年間1mmHg以上の減少は、試験開始時の血圧や併存疾患に関係なく、全ての年齢層で急速な腎機能低下の強力な危険因子であった。

したがって、60歳以上の高齢者のすべての年齢層において、血圧の経年的低下が腎機能低下の強力な危険因子であることが示された。

出典：British Medical Journal open. 2015; 5(6): e007571